

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。  
(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp  
ホームページ  
<http://www.kenkouro.com/>

# 建交労

# CTG

# とうきょう

# 建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03(3820)8644(代)  
fax 03(3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

激動の2021年が始まりました。春気におめでとうなどと言えない状況での年明けです。

新型コロナウイルスの感染は治まる気配もなく、ワクチンも治療薬もない感染症を抑え込むために経済活動を抑制しなくてはならない点が、決定的に深刻です。

株価は政府の買い支えによって持ちこたえていますが、GDPなどの経済指標は軒並み戦後最悪の数値を示しています。賃金・単価

あけましておめでとうございます。



撮影：書記局

る手当も不十分です。

労働組合は、主として経済係で組合員の利益を図る団体が、今日的にはより広範な役求められています。

2-1春闘では、新自由主義とばかり縁を切った国民の暮らしの政治、環境破壊を止め自然生する社会、個性を尊重し多を重視するジェンダー平等社会実現のために、建交労東京はをあげると申し上げて、新年挨拶とさせていただきます。

菅政権はより冷酷で国民に説明しようとも、その声を聴こうともしません。持続化給付金・家賃支援給付金も早々に打ち切られようとしています。医療機関

・可処分所得な  
どの落ち込みは  
日本経済の先行  
きに暗い影を落  
としています。



1月 6日(水)新春宣伝行動 新宿西口駅前



1月15日(金)21春闘闘争宣言行動  
厚労省＆日本経団連会場 丸の内デモ

コロナからいのちと雇用、生活をまもれ！ 国民春闘共同闘争行動  
1月 6日(水)新春宣伝行動／1月15日(金)21春闘闘争宣言行動  
厚労省＆日本経団連両陣営丸の内デモ

て、国民春闘共闘全労連、東京春闘共闘は、1月6日（水）に新春宣伝行動を、1月15日（金）に厚労省と日本経団連前で2・1春闘闘争宣言行動、丸の内デモを開催しました。

補償無き政府の無策な対応に国民の怒りは増すばかりです。日本医労連や東京医労連は、医療崩壊が目前に迫る深刻な医療現場を紹介し、「医療・介護・福祉への支援を増やせ、公立・公的病院の再編・統合は中止し、保健所を増やせ!」など早急な改善を求め訴えました。国公労連、国土交通労組、自治労連等の公務の単産からは、コロナ対策に追われ連日深夜まで続く長時間労働の実態が語られました。「公共公務サービスの人員を増やせ!」の声に国や財界は耳を傾け

る一方で発注者の大手ゼネコンは内部留保を増やし続いている事を紹介。建交労に結集する多くの仲間は生活に必要不可欠な労働者エッセンシャルワーカーであり、コロナ禍の中、感染リスクを負いながら働いている仲間の安全・安心な労働環境を求めました。その他、福祉保育労、出版労連、自交連、J MITU、全教、建設闘連労連、東京土建等々、全労連や国民春闘共闘に結集する多くの仲間が参加しました。21春闘勝利に向かって、団結して頑張ろう！

・可処分所得な  
どの落ち込みは

「コロナ禍から  
労働者のいのちと  
雇用をまもれ！」

部留保を労働者の賃上げや雇用拡大へ使うべきだ。」コロナ禍での失業者は8万人とも言われる中、

るべきです。経団連前で決意表明した建交労中央本部の廣瀬書記長は、ダンプ労働者が生活に困窮す

はより開会挨拶後、藤田副部会長が議長に選出され、来賓あいさつを都本部から行いました。

として市や団との随意契約を守る闘い、「シリバー人材センターに準ずる組織の基準」を都に作らせるよう国や自治体へ  
岩山事務局次長の闇会あいさつ、赤羽目部会長の団結ガンバローで総会は終しました。【都本部書記長 遠藤晃】

12月 6日(日)  
建交労東京都本部 東部支部  
第21回定期大会開催



東部支部 団結がんばろう！

組合揭示板

- 1月30日(土)～31日(日)  
第22回中央委員会／群馬磯部温泉
  - 2月 7日(日) 13時半～  
第26回都本部委員会※リモート開催
  - 2月 8日(月) 13時15分～バス関  
連支部(京王新労組) 中労委命令取り消  
し行政訴訟／東京地裁631号法廷

10月29日(木)  
東京事業団・高齢者  
部会 第15回定期  
総会開催

事業団の就労確保のたたかいや仕事確保拡大をめざした国・自治体への要請行動など活動報告がありました。

来年度の方針として、予算案の提案後の質疑討

共同墓所の会の概要について提起されました。会拡充、建交労東京都本部

# 11月23日(月)東京地評女性センター 第2回定期大会開催

組織48名が結集し、建交労東京都本部からは2名が参加しました。開会の挨拶をした結城議長は「東京のハローワークの調査で7万人の非正規・フリーランス・女性のパートなどが失業し、女性の自死は1・8倍となつてている。コロナ禍で労働組合の役割が大きくなつていて、賃上げの実現、長時間労働なくせ、ハラスメント根絶、社会保障の充実等々、女性の切実な要求実現をめざし力を合わせましょう。」と訴えました。鶴見事務局長か

各単産・地域の13人から報告がありました。教育現場からは「3月から新学期の4月まで休校となり、先生が生徒の顔を半分しか覚えられない、分散登校で子どもと教師が気持ちに余裕がない」と報告。医療・介護現場からは「コロナのために空きベッドをおくと病院収入が減る。多忙なのに賃金や一時金が減る。公的な補償と公的病院の拡充が必要。補助金が出ない非法化は許さない」等報告があ

決意を固め合いました。今大会はリモートではなく、感染拡大防止しながら会場に集まつて開催されました。参加者の直の発言をはじめ、医労連さんの美魔女踊り（サイチン音頭）を拝見出来、良かったです。

コロナの感染拡大で女性は生活、働き方に大きな影響を受けています。早いコロナの収束と女性がいきいきと働き続けられる職場環境や休業制度の整備が求められます。【建交労東京女性部 事務局長 江部明子】

された事はない。新型コロナに関して、WHO世界保健機関は今現在における「ワクチン接種の優先順位」を提言している。第1段階は医療従事者・介護従事者（人口の3%）第2段階は65歳以上・感染リスクの高い人（人口の20%）、第3段階その他優先グループ（人口の20%）。また、WHOは全体で65%～70%の人がワクチンを接種すればウイルスの伝播が阻止され集団免疫となると説明している。変異

パンデミック終了の時期  
～ワクチンをどうやって  
届けるか 溫暖地域にお  
ける輸送の課題～

そこで昨年、  
り都本部に  
を発足させ  
F運輸に組  
今、職場で  
なり、組織  
の拡大に奮闘していきます。事業  
団の仕事獲得、合同ユニオンの  
組織拡大、運輸支部の強化等を  
決議し、協同と前進を誓つて、  
団結がんばろうで大会を締めま  
した。【書記長 畠中 博資】

パンデミック終了の時期  
～ワクチンをどうやって届けるか、温暖地域における輸送の課題～

せられる。しかし、パンデミックの終了には、ワクチン開発そのものよりも「いかにして届けるか」ロジスティクスの課題があるようだ。今現在使用されているワクチンはマスク開発そのものよりも「いかにして届けるか」がいつになるかこそが問題だ。ワクチンを届けること自体が最大の難関なので。」と警告している。世界中全ての人が幸せになる日はいつになるか、アフリカや南米などの世界の温暖地域では、輸送の最終段階で必要な低温貯蔵庫が圧倒的に足りない。英の免疫学者アズラ・ガニ教授は「ワクチン接種によりパンデミックは終わるだろうが、それがいつになるかこそが問題だ。ワクチンを届けること自体が最大の難関なので。」と警告している。